

「M2BPGi(Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)」 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、標記項目の検査内容を変更させていただきますので、ご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目/変更内容

変更内容	新	現	検査案内掲載頁
検査項目名	M2BPGi定量	M2BPGi	P.69
項目コード	5210	3625	
検体量	血清 0.5 mL	同左	
容器	【01】汎用容器(分離剤入り)	同左	
保存方法	冷蔵	同左	
所要日数	3～5日	同左	
検査方法	CLEIA	同左	
基準値 (単位)	0.84 未満(AU/mL)	(-) 1.00 未満(C.O.I)	
報告範囲 (単位)	0.10未満、0.10～59.9、60.0以上 (AU/mL)	0.10未満、0.10～20.00、20.01以上 (C.O.I)	
桁数	有効3桁、整数2桁、小数2桁	有効4桁、整数2桁、小数2桁	
検査実施料	194点 (「D007」血液化学検査「50」)	同左	
判断料	144点 (生化学的検査(Ⅰ)判断料)	同左	
備考欄	(削除)	陰性(-) 1.00未満 陽性(1+) 1.00～3.00未満 陽性(2+) 3.00以上	

変更期日

- 令和7年5月30日(金)受付日分より

●M2BPGi(Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体) 定量

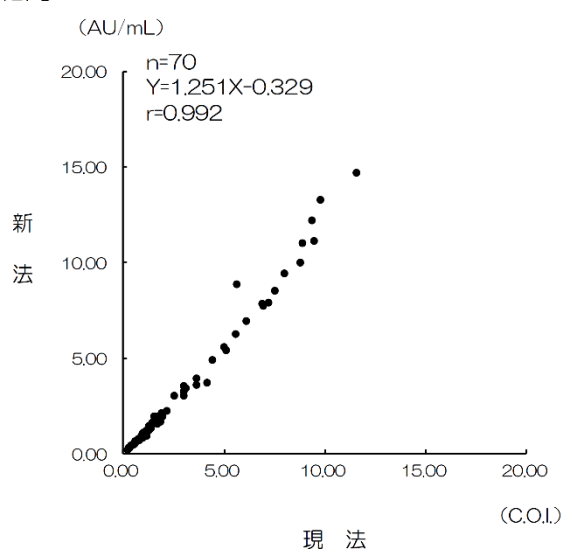
カットオフインッデックス(C.O.I)から定量値での評価が可能となりました。

M2BPGi(Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体:Mac-2-binding protein glycosylation isomer)は、肝生検との一致率が高く、肝線維化のステージを反映することから肝線維化マーカーとして知られています。

従来法によるカットオフインッデックス(C.O.I)から定量値となることで、肝線維化の進行をより詳細に評価することが可能となり、慢性肝炎や肝硬変の早期発見から治療方針の選択・モニタリング時の検査としてさらなる活用が期待されています。

エスアールエル検討データ

●相関



●参考文献

Uojima H, et al: J Gastroenterol 58(12): 1252~1260, 2023.

(検査方法参考文献・臨床的意義参考文献)